



岐阜県

苗木城

馬洗岩などの巨石と
石垣で守られた天守台

〔築城者〕元弘年間
〔築城年〕1331~1334年

〔築城者〕遠山景康

〔主な城主〕遠山氏、森氏、河尻氏

〔所在地〕岐阜県中津川市苗木

大手口道・長さ500mから見渡す
高低差150mの「四十八曲り道」

苗木城は、東美濃に勢力を誇った遠山一族の居城であった。

遠山氏は、鎌倉時代に加藤景康が美濃国恵那郡に地頭職を与えられて以来、東美濃で発展し、俗に「遠山七家」とよばれるようになる。

苗木城主の遠山氏も「遠山七家」の一つであり、岩村城主の遠山氏とともに、その中心的な勢力となっていた。

戦国時代末期、ときの当主遠山直廉（苗木勘太郎）は、織田信長の妹を正室に迎えて同盟するが、そのころ、東濃には信濃

を征圧した武田信玄が進出しようとしてくる。直廉は、自分の娘を信長の養女としたうえで、信玄の子勝頼に嫁がせた。こうして、遠山氏は織田氏と武田氏という二大勢力に挟まれながらも、生き残ることができたのである。

しかし、本能寺の変によって、遠山氏の立場は不安定なものになってしまふ。信長の後継者となった豊臣秀吉が、美濃国の金山城を本拠とする森長可に命じ、東濃を押し寄せたからである。

このとき苗木城主であった遠山友忠は長可への服属を拒む。そのため苗木城は森長可に攻撃され、陥落してしまったのである。これにより、友忠とその子友政は、そのころは浜松城にいた徳川家康を頼ることにした。

その後、苗木城は森氏の属城となり、森氏が信濃に移ったあとは、河尻秀長が城主となっている。しかし、慶長5年（1600）の関ヶ原の戦いで、河尻秀長は西軍につく。このとき、旧城の奪還を画策したが、遠山友政である。

友政は、家康に東濃の地勢を案内するとともに、1700ほどの軍勢

で苗木城に向かった。このとき、かつての領民数百も、遠山軍に従ったという。8月15日の夜、遠山軍が松明をかけて苗木城に押し寄せると、抗戦の不利を悟った城兵は逃亡したらしい。翌8月16日の朝には、城はもぬけの殻になっていた。

こうして苗木城は、遠山氏によって奪還され、友政城主に返り咲いた。現在みる形の苗木城は、遠山友政によって改修されたときの姿であるとみられている。

縄張は、山頂の本丸を中心に、二の丸、三の丸が配されているが、築城された高森山は、岩盤が露出するなど、平坦な場所が少ない。そのため、城内で岩場を利用する建物は、すべて懸造りとなっていた。

曲輪そのものも狭く、本丸は20m四方ほどしかない。この狭い曲輪内部に、天守や城主の居間である千畳敷があった。山頂には巨岩が露出しており、その巨岩を天守台として利用している。岩には、くり抜いた柱穴の跡が残っており、直接、懸造りで柱を立てていたことがわかる。

以後、遠山氏が12代にわたって城主となったが、城壁は、幕末まで白漆喰が用いられることはなかった。1万石の遠山氏にとっては、壁を白漆喰にする余力はなかったとみられる。苗木城は、赤土がむき出しになっていたため、「赤壁城」とよばれている。



苗木城天守台からの遠望

天守台には、3階部分の床面を再現した展望台が設けられている。展望台からは天然の堀としていた木曾川のほか、木曾川南岸を通る中山道、遠くは木曾山脈の南端に位置する恵那山をも一望できる。

【縄張図】 中津川市協力

92点

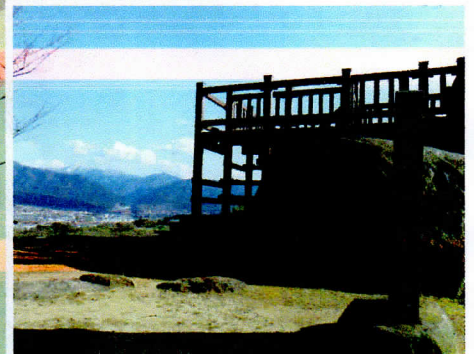
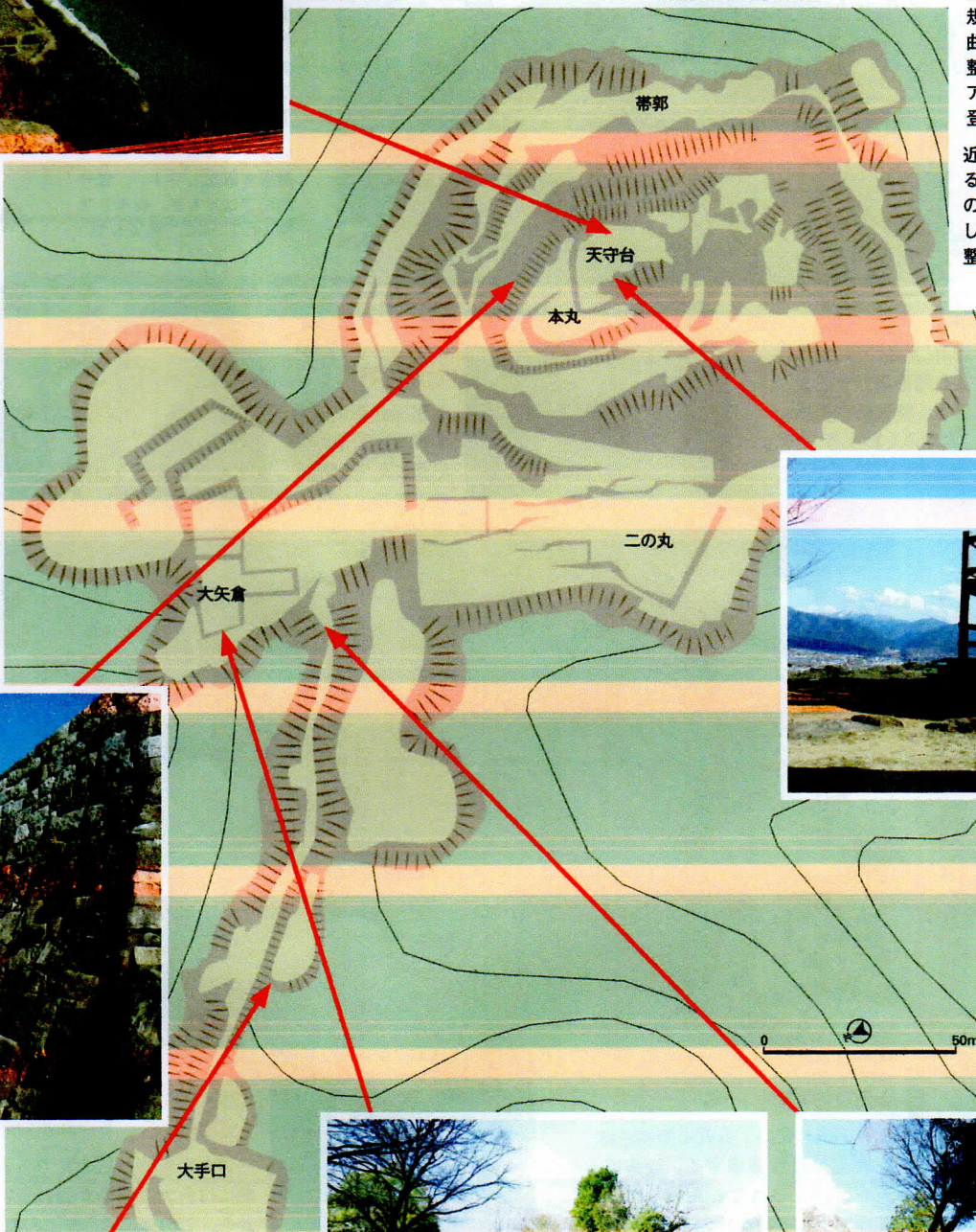
採点内容

歴史的重要性…13点
土塁・石垣・堀…20点
規模…10点 立地…10点
曲輪配置…15点
整備状況…10点
アクセス…5点
登りやすさ…9点

近世城郭に大改修されているので、関ヶ原の戦い以前の姿は想像しにくい。しかし眺望は大変に優れており、整備もほどよくされている。

苗木城 本丸下石垣

本丸直下は岩盤が天然の石垣となっているが、北面は石垣が築かれている。巨石を取り込んだもので積み方は城内では古い方に属す。江戸時代初期に築かれたものとみられる。



苗木城天守台城跡

本丸の天守台には、3階建ての天守が聳えていた。なお、天守は山頂に露出する岩盤を天然の天守台としており、そこに穴を穿ち、直接柱を立てる懸造りで建てられていた。



苗木城本丸遠望

苗木城は、麓からの高さが170mほどの高森山に築かれた山城である。写真は、三の丸の手前、高森山の中腹あたりから望んだ主郭。最高所に天守台が存在した。



苗木城大矢倉跡

風吹門を守るために建てられていた三の丸の櫓で、城内最大であったため、大矢倉とよばれている。三階建てであったが、最下層は穴蔵(地下)になっているので、見た目は2階建ての櫓であったらしい。



苗木城風吹門跡

風吹門は三の丸の正門で、苗木城の大手門となっていた。かつては、潜り戸がつけられた2階建ての櫓門が建てられていたところである。苗木遠山史料館に、門扉と門柱が展示されている。



苗木城跡

NAKATSUKAWA CASTLE REMAINS



天守跡展望台からの眺望
眼下には木曽川、その向こうに恵那山が見えます

標高:432m 形式:山城 築城:1526年 廃城:1871年 主な城主:遠山 友政

1 中津川市苗木遠山史料館



中世・戦国時代から明治時代初期までの文化遺産を保存・公開。苗木領と苗木城の貴重な資料を展示しています。

中津川市苗木2897-2
0573-66-8181
9:30~最終入館16:30
入館料320円、中学生以下無料
月曜日(祝日と重なった場合は翌日)、年末年始

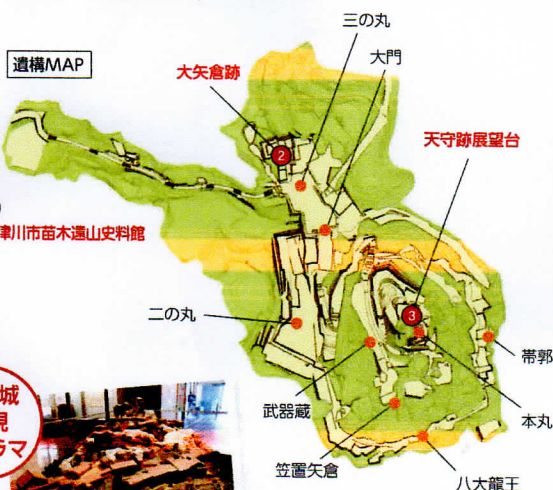
2 大矢倉跡

外観からは二層に見えますが、実際は三階建てだったと言われています。別名「御鳩部屋」とも呼ばれていました。



3 天守跡

天守は巨岩の上に懸造によって建てられ、三層となっていたようです。巨岩に彫られた柱穴を利用して、展望台が建てられています。



苗木城
再現
ジオラマ



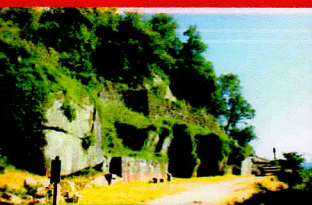
苗木城
復元CG
ビューア



岩山に築かれた苗木城。建物は全て板張または土壁であり、「赤壁城」とも呼ばれました。

(イメージCG:浅野孝司氏制作)

苗木城は別名高森城・赤壁城・霞ヶ城とも呼ばれ、江戸時代は苗木遠山家12代の居城として明治維新まで使われた山城です。巨岩の上に建てられた天守や懸造による建築など、全国的にも珍しいものでした。天守跡展望台からは日本百名山の恵那山や木曽川周辺、中津川市街地を一望でき、絶景スポットとして人気です。



苗木城跡訪問の記念にどうぞ。

価格:1枚300円

販売場所:

苗木遠山史料館

苗木地域まちづくり推進協議会(苗木事務所内)

土曜、日曜、祝日休み

武将

遠山友政 (1556~1619)

遠山友政は遠山友忠の子として飯羽間城に生まれました。祖父遠山友勝が織田信長の命により苗木城へ入り、その後友忠・友政父子が苗木城を継ぎました。天正11年(1583)森長可に苗木城を攻められ、父友忠とともに苗木城を明け渡すこととなりました。その後、浜松の徳川家康に付き、館林の榊原康政の旗下にいました。慶長5年(1600)、関ヶ原の戦いの直前に家康の命を受け苗木城を奪還し、苗木藩10,521石を拝領し大名に任ぜられました。友政は苗木藩初代藩主となり、その後苗木遠山氏は明治に至るまで国替えも無く、第12代遠山友禄まで藩主として苗木藩を治めました。



体験
プログラム

ボランティアガイド

地元ガイドが苗木城跡や苗木遠山史料館をご案内します。ガイドと巡ると見落としがちなスポットや歴史的な裏話が聞け、さらに楽しめます。ガイドと一緒に戦国ロマンの面影を感じてみませんか。

所要時間 50分~ご希望に応じて
利用料金 個人(9人以下)・・・500円
(協力金) 個人(20人以下)・・・1000円
団体・・・2000円
※要予約
主催 苗木城跡案内ボランティアの会
問い合わせ 0573-66-8181



グルメ

ひだ路元起

おすすめのランチメニューは「苗木城大名晩膳」。洋風、和風の2種類ありどちらもびっくりするほどの得盛りランチです。

中津川市苗木1826-1
0573-66-7511
9:00~21:00
無休(臨時休業となる場合があります。)



苗木城大名晩膳(洋風) 800円

丸市食堂

名物「五平餅」中津川市は団子型が主流です。焼きたてのおいしさを是非味わってみてください!

中津川市苗木4929-7
0573-65-3979
10:00~23:00
月曜定休
(臨時休業となる場合があります。)



五平餅 1本120円

ミスター・イングリッシュ・コーヒー 24/7ドライブスルー

オリジナルコーヒーをドライブスルーで楽しめます。中津川ブレンドや城山ブレンドなど、コーヒー豆の販売も。

中津川市苗木4849-4
0573-67-8532
10:30~15:30
無休



ホットコーヒー 5300円、1400円
フワッパ250円

城 お土産



中津川めぐり 苗木城跡 350円

栗きんとん味のかりんとう。
やみつきになる一品。
※苗木遠山史料館で購入可



苗木城赤壁伝説絵巻 500円

苗木城跡の赤壁伝説や
見どころを描いた絵巻。
※苗木遠山史料館で購入可



とのまち

720ml 1,440円

遠山家へ献上していた
と伝わる「殿待ち」を
現代に再現。
すっきり辛口の味わい。



栗納豆こわれ! 540円

石垣の形を栗でイメージ。
甘さ控えめの上品な味わい。

苗木城伝説 216円

練り餅に栗きんとんを
包んだ和菓子。
赤壁城伝説をイメージ。



中津川市観光センター にぎわい特産館

中津川市米町1-1
にぎわいプラザ1F
0573-62-2277
8:30~18:00
年末年始、2月第3日曜日

赤壁城伝説・ 赤かべ 500円

苗木城跡に関する
焼印が入った
素朴な卵せんべい。



赤壁城はちみつ 1,000円

別名「赤壁城」の色を
イメージした、
そよごの花から採れたはちみつ。



苗木城石垣 香林唐 310円

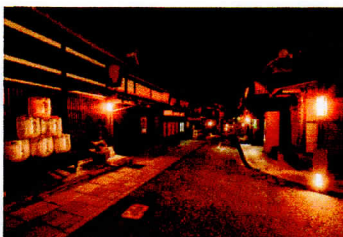
石垣の形をイメージした
一口サイズのかりんとう。



周辺情報

中山道中津川宿

中山道の45番目の宿場で、うだつのある街並みや、幕末期の貴重な資料などを展示する中山道歴史資料館が見どころです。



中津川市本町
0573-62-2277 (中津川市観光センター)
0573-66-6888 (中山道歴史資料館)

中山道馬籠宿

岐阜県で最も東にある中山道の宿場町です。急峻な坂道の両脇に昔の家並みが続きます。島崎藤村生誕の地です。



中津川市馬籠
0573-69-2336 (馬籠観光協会)

道の駅花街道付知

観光情報コーナーや地元の特産品、野菜を販売しています。9時~17時までは無料で天然温泉の足湯に入ることができます。



中津川市付知町8581-1
0573-82-2000
9:00~18:00 (駐車場・トイレは24時間利用可)
毎月第1・第3火曜日(祝日の場合は翌日)

かしも明治座

明治27年に建てられた120年を超える芝居小屋。岐阜県の重要有形民俗文化財に指定されています。廻り舞台や奈落などが見学できます。



中津川市加子母4793-2
0573-79-3611
10:00~16:00
月曜日